

昭和60年度社会学部学生卒業論文目録

雑誌名	社会労働研究
巻	32
号	3-4
ページ	147-163
発行年	1986-03
URL	http://hdl.handle.net/10114/00018374

卒業論文目録（昭和六十年年度）

第一部

（湯川ゼミ）

植 草 真 二 戦争と人間について考える

太 田 賢 一 明治期における近代日本の思想―『文明論

之概略』・『三酔八経論問答』を読む―

柴 原 一 樹 天皇制ファシズム下の教育政策

石 田 清 福沢諭吉―『文明論之概略』・『帝皇論』・

『尊王論』にみる天皇観・国体観―

遠 藤 剛 之 オレンジの時代―果たされざる脱出―

明 石 肇 競馬に関する一考察―社会学的・思想的分

析の試み―

富 高 誠 教育改革とは何か―第二の教育改革と第三

の教育改革を比較し、今日さかんにいわれ

る教育改革の本質をさぐる―

大 塚 典 子 初版本の装幀と漱石とのかかわり

名 田 典 子 「現代における『戦争』と『平和』に関す

る意識の構造」―戦争学習の総括として今、

あらたに問い直す―

早 坂 寛

平井の三月十日―聞き書き 東京大空襲―

（田代ゼミ）

岡 嶋 律 子 現代における女性差別

内 野 智 子 多国籍企業に関する考察―その特徴および

日本企業の多国籍的展開について―

日本経済と金融の自由化・国際化

OPECと石油危機

流通機構の現在とこれからの流通

金融論―銀行の業務と意義―

OPECについて

ヒューマン・リレーションズについて

米国内閣の再生とレーガノミクス

現実認識―レイン論から―

（秋田ゼミ）

田 上 圭 二 使用者の懲戒権

納 谷 充 子 楽しく女性が労働するための一考察

石 塚 恵 津 子 雇用上の機会均等についての一考察―男女

雇用機会均等法制定と女性の意識に関連し

て―

(田沼ゼミ)

関 口 順 洋 「中堅企業」が日本経済に占める位置とその考察

手 島 浩 二

その影響

の考察

青 野 恵美子 福祉労働者の社会的位置づけについて

両 角 一 也

国際情勢と日本の中立政策

山 口 剛 弘

先進国としての日本と経済・文化あるいは世代論

飯 倉 輝 美

世代論

伊 藤 孝 佳 発展途上国の債務累積問題と国際金融不安

白 鷺 寛 泰

女子パートタイマーの姿

鈴 木 伸 幸

吉 野 浩 史 日本の子労働—女子労働が訴えるもの—

石 井 祐 司

「山本秋」論—消費組合運動から市民生協運動へ—

浦 川 一 幸

遊びをめぐる思考

大 久 保 滋 幸

植 木 徹

桜 井 陽 一 郎

和 田 美津子 四年制大卒女子の就職意識

土 橋 英

ME化の波と労働者

大 川 明 修

(土生ゼミ)

石 川 雅 之 ブラジル経済の発展に関する諸要因と内部矛盾

水 落 次 男

矛盾

頤 川 徳 夫

桐 原 貴 志 中東産油国の将来—日本をとるべき道—

土 橋 英

佐 藤 淳 シンガポールの経済成立と問題点

大 川 明 修

榛 葉 武 史 第二次大戦後のアメリカ中東政策の変遷と

水 落 次 男

Growth with Equity シンパブエの意義

国際政治におけるイスラム主義の台頭
「イラン・イスラム革命への道」
アルゼンチン・ペロン体制の成果と限界に
関する一考察

日系多国籍企業の東南アジア進出について
タイの開発政策
フィリピンへの経済援助の実状
マレーシアにおける独立後の国内の政治経
済と日本との国際関係についての考察

ASEANと日本 地域的相互補完関係に
あるこれらの国々を貿易という商品流通を
通して考える

OPECの支配力の動向について
現代アメリカの核戦略
平和とは

「中東問題と日本外交」
ラテンアメリカ その困難な状況と解放へ
の模索

ブラジル経済の発展過程と今後の課題につ
いて

内山美彦	タイの本質的發展は可能か		
鍵野仁	差別と抑圧の原点	佐藤勝広	(船山ゼミ) 日本車はなぜ嫌われるか—世界小型車戦争—
藤里玲子	フィリピン農業と農民をとりまく問題		
松島賢一郎	一九八四—一九八五 アフリカの焦点エチオピアをさぐる	東山知鶴	現代イスラエルの社会制度と国内問題
渡辺浩	インドシナ發展への展望		
小木曾孝	アフリカ文化の再生とその民族的独立	原健作	(中林ゼミ) 日本労働運動における右翼的潮流—その実態・理論・存在基盤
清水康一	インド開發政策の成果と問題	額田繁正	公務員の身分制度
安達由美	中東石油情勢	横山勇	現代の企業と日本の労使関係
岡村正彦	中国の農業における經濟改革—主に農業生産責任制について		
片倉洋	インド社会に内在する諸矛盾	(齊藤ゼミ)	
鈴木弘明	中国の農業政策の変遷と農民の生活	一の宮雅浩	日米貿易摩擦—自動車問題を中心に—
鈴木美佐子	中東産油国の将来—OPECは崩壊するか—	市村行孝	現代日本税制の問題点—昭和六十一年度税制改正案—
月岡千恵	ブラジルにおける累積債務問題 累積の原	倉田龍雄	地方財政と地方税
	因影響打開策について	津田道則	財政再建論
古屋雅也	韓国の高度經濟成長と矛盾	柴田豊	日本の住宅問題と財政投融资計画
森山真記子	ユダヤ人の本質—ユダヤ教の思想的影響—	伊藤覚	金融自由化について
野中信史	世界を支配する中東—石油が与える影響について—	内田和仁	日米自動車摩擦
		岡島多賀夫	韓国の高度成長について
		尾崎浩一	財政面からみた我が国の社会保障制度

(平野ゼミ)

大野 貴司 THE MOVIE 一九八三〜一九八六

高久 忠 アメリカ世界一物語

溝端 成嘉 ブラック・ミュージックの百年

加藤 智 現代消費社会について考える

村岡 康之 アメリカ合衆国を構成する各民族の歴史的

背景と現在におけるアメリカでの地位との

関係について

杵 渕 克哉 新潟県のスキー場―妙高高原地区と石打地

区―における設備と客動員数の関連につい

て

茂 原 真人 現代大衆音楽の考察

篠 原 直樹 現代小劇場演劇の考察

羽 深 浩史 東京一見

井 沢 真由美 ロック・ミュージック考察

神 本 結利 わたしの生活におけるアメリカ

穴 見 利紀 任侠映画からやくざへの変遷と内容

天 野 健二 非日常的時間現象としての音楽

笹 沼 朱美 現代の老人像と高齢化社会について

東 郁 子 情報化社会と女性像

川 浦 一恵 ライフ・スタイルの今昔

篠 田 守弘

私の見た日本人達

偏差値世代の価値観

鈴木 節子 自然との対話

橋 本 聡 オナニー現象の考察

(嶺ゼミ)

遠 藤 稔 「労働の人間化」に対する諸考察

科学的管理法についての考察

塚 本 樹一 技術革新と「グレード・アップ」の関係に

平 勝利 ついて

今 野 秀志 日本の産業革命と紡織部門の展開と資本主

義の確立

阿 部 紀彦 年功是正の新職能給について

郷 徳 久 情報化社会における技術革新と労働

安 井 義明 科学的管理の本質

渡 辺 金蔵 技術革新と経営家族主義

(中野ゼミ)

小 林 正樹 現代大衆事情 高齢化社会における日本人

の余暇

泉 田 優 現代アルバイト青年考―恵まれた時代の中

でアルバイトに奔走する若者達―

橋本泰以子	物体と空間移動他	浅原博司	健全なる精神
宮沢裕二	現代文化における破壊現象について	小倉克夫	映画とその周辺についての研究
安藤裕	日出づる国のピラミッド	小林真紀	私の音楽体験
金井義和	発狂したパフォーマンス―食文化は今正しいか―	斉藤昌哉	今、野球を考える
徳田和久	私的東南アジア・印度文化考	松浦一雄	エニィ タイム アト オール
大出真紀	現代プロ野球観戦事情	五島滋美	地方都市における現象としての文化とその方向性
織田仁	表現におけるリアリティについて	(金山ゼミ)	
小幡恭子	日本の歴史の変化とそれに伴う芸能アイドルの変貌についての分析	根本英次	核燃料サイクル施設立地と住民の動向
坂井洋乃	「僕たちが認識しようとするものと、実際に認識するものの間に横たわる深い淵」の問題について	島崎憲一	開発行政への参加と情報公開
高砂かおり	一九八八日間に存在した私的意識の流れ	川嶋慶太	―埼玉県行政情報公開制度の検討―
竹内真里子	現代日本人の表情	佐々木千秋	我が国のナショナル・トラスト運動
遠山哲也	東武東上線に関する私論	―その現状とアメニティ思想―	
縄田屋生子	アイドルの周辺	古澤照夫	「労作教育」及び「勤労体験学習」について
安江美紀	国際化時代におけるアメリカと日本の習慣の違いとその改善点について	中嶋章博	六ヶ所村庄内地区発展にみる今後の酪農の一つの在り方
嶋村徹	ライナーノート'82―'86	地場産業を核とした地域振興	
関谷清一	電話に対する意識考察	(石垣ゼミ)	
森亜野	RAIN―不在をめぐる幾つかの印象―	市川俊之	日本資本主義の資本輸出

林 敏 弘 IMF体制の研究

佐藤 健 一 国際金融市場—ユーロ・ダラー市場の成長

森 純 ベトナム戦争がアメリカ・ベトナム両国に

及ぼした経済的影響

鈴木 代 光 経済摩擦の解消をめざして

松本 和 也 ブラント委員会報告の検討—南北問題への

アプローチ

上尾田 哲 也 アメリカ経済の戦後史と現状

佐々木 博 志 日米経済摩擦

丸山 純 一 南北経済関係論

(福田ゼミ)

前田 明 子 資本主義と家事労働

大橋 都志美 市場と社会主義経済

(高藤ゼミ)

萩野 真 抜本的税制改革私案

木村 光 男 高齢化社会における定年制

広濱 宏 幸 今後の労働時間法制のあり方について

小原 重 政 懲戒権

清水 亨 男女雇用機会均等法について

田川 宏 昭 定年制に関する一考察

小野 聡 子 現代パートタイム労働実態とその問題点—

婦人労働を考える—

中里 佳 子 学生アルバイト考察論—アンケート結果を

中心にして—

奥村 道 弘 就業規則の法的性質についての考察

(森ゼミ)

和田 洋 一 神奈川の水資源開発

上田 茂 和 水を通して見た現世代の意識

亀澤 伊佐男 シラス地域におけるシラスと水との関わり

についての研究

篠田 栄 一郎 都市の水需要及び現代日本の水を取りまく

環境破壊についての考察

本田 尚 之 琵琶湖の魚の裁判史

ダム建設

藤田 健 美しい水について

森 豊 水の加工について

岩崎 斉 行 水利調整についての考察(中木ダム上水道

譲渡問題を参考にして)

小澤 雄 司 農業用水の合理化

(高橋彦ゼミ)

加藤 千洋 池田勇人論

黒柳 友雄 田中角栄論

中村 洋一 国民生活からみる所得倍増計画とその評価

早川 英樹 佐藤政権八年

鈴木 美和 憲法第九条

阿久津 義則 戦後沖繩の復帰運動

平井 敏行 派閥連合体としての自民党

渡辺 英博 今日の催事の現状と今後の見通しについて

石野 美樹 主婦の戦後史―性別役割分業の考察―

太田 祐子 朝鮮戦争の波紋

黒崎 裕子 日本の防衛

(田中ゼミ)

土川 邦久 近代実証主義的社会科学批判―パラダイム

赤池 慎一 論を中軸として―

黒崎 淳 日本社会の私化をめぐる考察

伊藤 優子 表象と無

金本 雄一 批判的精神の後退

野村 一行 人為的差異に抑圧される人間―社会的世界

高橋 徹 意識と発達―錬金術としての宗教―

言語と表現

広木 真由美

清水 瑞久 人間的自然(human nature)の在り方について

清水 瑞久 創造的行為のメカニズムに向けて

(石坂ゼミ)

杓井 一夫 宮武外骨の研究―その表現と活動―

加賀谷 伸 ブロックン・ジェネレーション

高松 耕 現代プロレス考

阿部 雅之 情報・商品・流行の相関分析―ヒット商品、

飯塚 一嗣 そのCMと流行現象を通して―

はっぴいえんどと歌謡界を含めた日本の音楽シーンの流れと現在のポップ／ロックシ

飯塚 一嗣 ーンの状況(日本語の音楽とは)

児玉 和宏 筒井康隆とコミュニケーション

和田 由美子 民主主義実現のための社会とジャーナリズムの構図

嘉数 協子 マス・コミュニケーションと大衆操作

福岡 美和 現代社会における情報公開制度の矛盾

小柳 昭夫 ギャンブルに関する一考察

財部 八千代 ニューメディアと人間・社会

須原 信次 現代マスコミにおける商業主義の諸問題

宮本 忠司 高度情報社会

(相田ゼミ)

竹田 憲司 消費動向に関する考察―賢い消費者像を求めて―

小島 淳 日本の産業技術力―「技術立国」と獨創性

滝沢 千栄子 栃木県足利市の地場産業―歴史と今後の行方―

丁 麗娟 日米貿易摩擦について

廖 松岳 日本市場における消費財の開拓について

丸木 一秀 情報化社会における小売革命―新小売業がもたらす社会的現象―

田中 智 日本の外食サービス産業

大竹 仁志 中小企業の発展の条件と異業種交流

米田 邦生 日本電気通信革命―電電民営化と新日本経済社会―

安部 吉弘 第二次米沢産地振興計画策定への指針―流通システム整備に主眼を置いて―

脇坂 弘之 高齢者雇用の実態と課題

李 声義 社会主義の経済―鄧小平時代の経済革命

佐藤 良典 中国の工業近代化政策からとらえた経済近代化への課題

深川 英治 海外直接投資における日本の経営の問題点

入江 志乃 現代女性労働問題
桑原 弘美 マーケティングとマーケティングリサーチの重要性

(稲上ゼミ)

高橋 宏彰 日本のVDT健康障害とその対策

古林 良一 日本の労働時間短縮問題

永野 賢二 追ってくる日本型高齢化社会とその対応について

和田 博幸 雇用における男女差別と性役割

石田 裕子 高齢化社会における女性の老後問題

岩井 裕時 大衆化の中の「学士」

江上 義幸 労働時間と貿易摩擦

岡 達生 迫ってくる高齢化社会における健康対策―健康な長寿―

田辺 京司 日本の高齢化社会とその対策指針

吉田 徹 日本の将来を担う子供達のために

岡 治代 高齢化社会における女性の自立と老人介護

小野 智隆 現代大衆文化とコミュニケーション 日本

柳 田 弘美 のフォークソングの歴史と考察

奥 富晴美 人材派遣業の実態と今後の見通し

自民党長期政権の要因についての考察

合田 裕加	「男らしさ」・「女らしさ」を超えて
新田 裕子	現代の新家族体系
宮崎 篤人	「大衆」を考える
袴田 竜男	「消費ルネサンス」のマドンナたち
杉本 睦美	高度情報化社会におけるプライバシー侵害の危険性
谷 治一彦	現代大学スポーツ事情と法大をとりまく諸問題
瀬戸口 一郎	韓国の家族及び日本との比較研究

(公文ゼミ)

伊藤 公彦	広告―新聞広告の現状とその展望
岡部 検次	現代における国際通貨体制を考える
笠谷 将悟	日本の財政赤字と財政政策
高野 倉俊勝	国債と財政再建
田沼 泰弘	日本企業の多国籍化
山田 敦史	対米比較による日本自動車産業に関する研究

大川 香	二十一世紀への情報革新
秋山 忠清	現代日本の金融構造とその将来
海保 実	金融自由化と金融政策
藤井 貴子	企業の技術革新

杉生 直樹	日本における高度経済成長の歴史的過程とその考察
荒川 宏一	転換期の日本経済
河瀬 達也	日本の雇用問題と失業問題
(高橋 紘ゼミ)	
小日山 隆一	高齢化社会と家族の変化について
村野 学	高齢化社会における施設福祉の動向について

真谷 美貴子	ボランティアについて
丸山 俊明	精神薄弱者問題について
二見 園子	登校拒否児に潜む現代社会の病理
井沢 淳司	在宅老人福祉 介護者の負担軽減について
大沢 慎哉	高齢化社会における高齢者の雇用問題
日吉 衛	在宅老人福祉を考える
諸橋 和弘	日本型福祉社会とその影響
(大山ゼミ)	
遠藤 直之	我国における生活様式の歴史的変化と住宅構造に関する一考察Ⅳ

佐藤 篤	生活基盤としての公共交通
田村 大志	我国における生活様式の歴史的変化と住宅

構造に関する一考察Ⅲ

月岡正光
わが国における生活様式の歴史的变化と住宅構造に関する一考察Ⅲ

二神一郎
我国における生活様式の歴史的变化と住宅構造に関する一考察Ⅱ

船津明子
老人と家族問題——同居について——
「文化としての食」についての考察

藤野良成
食生活の変化と食糧

山本裕二
福祉社会の原点——社会的連帯と福祉社会に関する一考察——

平田成美
福祉社会の原点——社会的連帯と福祉社会に関する一考察——

笠井俊彦
日本の福祉——日本型福祉社会から真の地域福祉へ——

(盛田ゼミ)

白井雅己
THE VOLUNTEER
比較経済システム論——その理論とアメリカ、ソ連における現状——

畑中元成
社会主義経済システムにおける「不足」の現象

小夜聡
ティンバーゲン「収斂理論」25年目の再考
千葉雅典
コルナイによる「不足」経済分析

(寿福ゼミ)

若月利一
地域性の喪失とスーパーマーケットの成長について

(諏訪ゼミ)

高橋秀明
福田修
「労働者派遣法」をめぐる諸問題について
人間労働論——状況把握の試み——

三村慎司
プロ野球における労働諸問題

小川紀子
男女雇用機会均等法成立——その過程——と女子大生就職事情

佐々木伸子
日本の人事異動と労働者の家庭事情——単身赴任の研究——

佐藤恵子
日本の企業における人事管理及び労働者意識の比較

(水野ゼミ)

菊地幹
現代社会のダブル・バインドを超えて

上紀子
私説 山アラシのジレンマ

東郷利果香
家族とテレビに関する一考察

入沢泰正
登校拒否の発生機序について
毛塚隆
暴力と社会の関係についての考察
関口秀人
主人公論

鈴木由美 美意識の望楼

池田千佳子 現代社会に期待される仲間―失われつつあるつながりを求めて―

石原桂子 だって、女の子なんだから！

志村正彦 現代の若者像とその未来

園田光美 「子ども」観の変換と展望

(船橋ゼミ)

中村邦生 住民運動の比較研究―東北・上越新幹線建設反対運動の事例より―

幸本隆 自然と人間の共存

早川広美 学校教育の有効性―社会と個人をめぐってマックス・ヴェーバーにおける「価値判断排除」論の生成

石井明夫

古川芳昭 集団とアノミー的逸脱行動―アノミー論批判を受けて

大野浩美 自分論の試み―アイデンティティ・共同性・経験

石黒俊弘 社会の変化と高校教育

(稲増ゼミ)

藍田晴子 現代社会におけるビデオについて(特に

Musicビデオについて)

アイドル社会学

オールナイトフジ現象―受け手、送り手の相互フィードバック

現代大学生の価値基準についての考察

婦人総合雑誌の興亡―「主婦と生活」

「LEE」の比較研究

(安江ゼミ)

村富利雄

戦後日本の都市政策の変貌と特色―横浜市
の事例に即して―

村主和隆

都市における物流と交通体系

吉岡浩志

アメニティに関する一考察―政策・自治
体・住民の関連―

蛭田盛久

情報化社会―その現在と未来―

望月正彦

今日の「政治的意識」形成要因の様式と機能―「政治意識」を規定する政治的・社会的
現状分析を通して―

赤銅美和

コミュニティの今後の可能性

堀内信之

現代都市社会における病理現象―病める現
代人―

植村裕一

現代家族とその近未来像

大塚 美弥子 都市における情報化と人間性の喪失

佐藤 典子 地域開発とその発展―鎌倉の歴史的環境の「保存」と「開発」を通しての考察―

安井 伯宏 都市の巨大化とその問題点―空洞化する東京―

恩田 政宏 都市づくりを考える―人口再配分と文化都市づくり

森下 伸次 都市計画の現状と課題―戦後日本の歩みを通して―

北出 和久 コミュニティ生活の創造―人間にとってもっとも適した生活空間とは―

小林 昭夫 風俗産業の動向―歌舞伎町の場合―

鈴木 康弘 魅力ある都市をつくる

村上 知佐 戦後日本地域社会論―社会教育を通して―
餅田 和寿 都市と若者―その意識と行動―

(藤井ゼミ)

小橋 洋 E・フロムにおける逃避のメカニズムについて

伊東 利晃 モラトリアム人間を探る 現代社会を表現する人の心理

(森 典子ゼミ)

浅野 誠 階級・階層に関する一考察―C・W・ミルズに寄せて―

加藤 昇 こんなてれび デュルケム社会学における法と交換の理論の研究

岡崎 修二 リデル・ハートの「間接的アプローチの戦略」の研究

朝賀 喜之 大衆社会の崩壊

阿部 信也 ロックとジョン・レノンの芸術社会学

石本 広之 外食産業の現状と今後の展望

稲葉 嘉彦 音楽と人間社会(音楽発展の歴史と、それを育てた人間社会についての考察)

内田 孝 アメリカンフットボールから見た日本とアメリカ

紙谷 隆志 極移動論―地球の最期を予測する

木下 睦 天皇制下の国民統治

米田 真樹子 日本近代教育史に於ける教育と国家・政治との関係について

大東 とよ子 (村井ゼミ)

川人 紫

逸脱の研究

鈴木 恵美子 エアロビクス総論

江東 和美 テレビ論

田中 博 意味の過剰

吉川 泰一 力学的世界観構築のための思考実験

堀井 満之 ノート・意識に関する考察

坂本 朱美 価値喪失時代における青春論

(吉田ゼミ)

足立 英世 米国の宇宙開発について

高橋 宏明 ニューミュージックの本質とジャンル

中村 裕樹 アメリカにおけるロックの意義とそのゆくえ

日吉 伸介 現代社会の時間制度の形成について―歯車

時計と抽象的時間―

竹本 幸徳 アメリカ黒人の歴史

滑川 和志 私のギャンブル観

叶内 秀幸 アフロ・アメリカンの社会とその文化

(上林ゼミ)

岩永 洋平 丸山真男の「近代意識」と柳田国男の

「常民」概念

石川 礼子 変革期の再生産労働

四釜 俊己

前田 大介

蒲原 里佳

現代日本のジャーナリズム
個人と組織 ある職場集団の研究を通して
ME技術革新によるOAの進展と労働―革
命か それとも単なる技術発展にすぎない
のか

松野 直己

長 浩

一田 昭彦

小松 章

渡辺 一広

(川崎ゼミ)

林 泰志

田原 敏司

中谷 英毅

小野 孝

青木 隆幸

現代日本のジャーナリズム
個人と組織 ある職場集団の研究を通して
ME技術革新によるOAの進展と労働―革
命か それとも単なる技術発展にすぎない
のか
宗教経験についての一考察
富国論―富んだ国についての消費論的考
察―
「共生」への試み
日本の経営の下における勤労意欲

テレビ土曜深夜における性表現の限界につ
いての一考察
分衆の時代における広告戦略
広告にみる現代日本人像
アメリカ映画におけるアメリカ人にとって
のベトナム戦争―彼らはベトナム戦争をど
う感じたか―
日本人のコミュニケーションは本当に「日
本的」か?
日本映画界の現状とその要因

島田 康子 テレビ界の促成栽培ザ・アイドルは作られる

る

鈴木 郁代 女性の時代がもたらすもの—女性の動き、

視点をさぐって—

村松 克也 テレビ朝日のヤラセ問題とテレビの現状

小坂 哲也 企業の文化創造過程とその神話性

斉藤 留美 現代広告文化考

松本 愛子 マスコミと若者文化

法 沢 由香里 現代女性のライフスタイルと広告戦略

松井 勝美 生活全体が「ファッショニ化」した時代の

マーケティング戦略法とは？

山村 直樹 笑いのゆくえ

(大水ゼミ)

青木 和仁 貿易摩擦と非人道的な非関税障壁

上田 和浩 ニューメディア時代が真に意味するもの

柿沼 栄 円高と日本経済

葛葉 光司 日本の貿易摩擦の特徴と産業調整

長谷川 敏久 日本の転換期と基本政策

岡本 成嗣 日本国有鉄道の現状

佐藤 実 金融自由化の現状と展望

高山 邦彦 各国の社会福祉政策

星 一志 わが国の女性労働

王 榮煌 企業の国際化における解決すべき問題

YANG SEIK LEE 中国の経済改革について

秋山 真登 経済におけるパラドキシカルな錯綜性及び

不均衡について

(藤本ゼミ)

岩井 正人 農地論—農地問題と今後の農地のあり方を

考える—

島田 樹 農村土地利用における農地価格の推移とそ

の実例

馬島 俊哉 我が国における食料自給率向上の重要性と

そこに果す農村の役割の重要性

日比野 鉦恵 日本の有機農業

岡野 功 食糧自給率の向上を考える

窪田 聡 食糧危機問題について

鈴木 克典 日本に対する食糧戦略と日本農政—アメリ

カ小麦日本侵攻と米・食糧問題にみる—

手塚 智彦 日本の観光農園

生川 雅一 広岡野球対吉田野球について

指 濱 早由里 土地の流動の動向とその発展課題

藤本 桂一郎 ベトナム

東 俊 宏	現代の食糧問題と今後の課題
福岡 真由美	日本の食糧を問う―米の実状を追う―
生 出 薫	果樹農業の役割と今後の展望
志 村 弥 生	有機農業について
角 田 あかね	我が国の食生活の現状とその変化
谷 みゆき	産地直結運動
細 田 泰 博	世界の食料事情に見る現在の食料システム を担う農業の近代化とその実際
見 上 貴 子	日本農業の危機―食糧危機―

第二部

(土生ゼミ)	
岡 本 敏 行	東南アジアの経済的自立を考える
鈴木 一 俊	アパルトヘイト、昨日・今日・明日
高 根 宏 哉	フィリピンの経済的自立と今後の展望
大河原 譲 治	アフリカの飢餓を考える

(福田ゼミ)	
土 屋 安 男	ユーゴスラヴィアにおける社会主義と自主 管理
山 口 文 昭	マルクスの宗教批判と残された問題

生 越 正 和	現代フランス経済論
杉 山 勝 樹	滝村国家論によるレーニン国家論の検討
(高藤ゼミ)	
宗 形 真 宏	経営参加論―団体交渉と労使協議制につい て―
馬 場 友 華 子	パートタイマー労働―これからの展望にお ける一考察
水 尻 和	男女平等と婦人労働者の意識

(相田ゼミ)	
片 桐 達 人	総合商社の問題点と展望
加 藤 敦 子	独占資本と消費生活
山 崎 恭 一 郎	中小小売店とセブンイレブン
志 賀 正 弘	金融自由化と中小企業金融専門機関
木 原 正 博	海外生産の現状と展望

(高橋紘ゼミ)	
河 村 泰 子	高齢者就労を考える
深 野 裕 司	高齢化社会における日本の住宅環境問題― 福岡県春日市「老人下宿」による一考察―
柳 沢 賢 二	高齢化社会における老人の家族とその処遇

(稲増ゼミ)

佐藤 民夫 ぼくは渋谷が大好き

佐藤 基樹 メディアにおける音楽についての考察

山口 憲多朗 時代にみるヒーロー

新田 洋之 80年代の女性アイドルの考察からみた若者文化

小黒 芳弘 氾濫するマンガとその魅力

関口 隆幸 若者の街分析

野口 守 正しいリアクション

矢崎 隆彦 インディーズ・シーンにおいて「フル

牧野 寛 ズ」はメジャーたり得るか

自動二輪車ブームとその社会性について

福井 基 現代家族の全体像

田中 泰史 パラダイム、科学、社会科学

(矢沢ゼミ)

益子 はるみ 青年労働者の労働と生活の実態―21世紀を

松田 憲子 になり私たち青年労働者

女子労働者の未来 男女雇用機会均等法を

(吉田ゼミ)

山中 敏裕 めぐる問題点

瀬長 博 自由民主党―その超長期政権の解剖と展

高橋 正彦 望―

槌野 彰 日本の外交及び安全保障

平間 緑 自民党の派閥

飯島 達郎 防長出身の宰相論

板橋 克吉 精神薄弱児の就学保障問題に関する社会科

高木 和重 学的一考察

中村 一雄 日本における連合政権とその可能性

花島 照之 対米従属下における中曽根内閣

福岡 久俊 首相になる以前からみた吉田茂の人間像

積田 泰和 一九五五年の政治体制

平野 光英 自民党30年と池田勇人内閣・佐藤栄作内閣

現代演劇におけるパフォーマンス試論

現代社会におけるスポーツの魅力とその意

義

管理社会における自由の行方―ロックミュ

―ジックからの考察―

若者と音楽―若者にカリスマは存在するの

か―

松永 信明

片山 義和 服装観―紳士服とユニホームの場合
金子 稔 社会問題化するオートバイ問題についての
考察―オートバイ事故減少のために―

豊島 悟 子どもの生活とアニメ番組

中村 秀俊 テレビメディア考察

松野 栄美 ヤングアダルトはテレビに何を求めている
か

関根 信之

の新しい課題

永続的産業としての農業について―限りな
く続く自然を求めて―

アメリカ食糧経済の機能と農産物対日攻勢

太田 正浩

(川上ゼミ)

緒方 真由美

資本主義経済の発展と社会保障―日本・医
療保障の行方―

加藤 喜弘

高齢化社会における高齢労働者の就労・雇
用問題

(小林ゼミ)

酒井 明 現代日本に於ける憲法第九条と自衛隊のそ
の存在意義について

白鷺 正人

豊さのあとに残された問題―日本の近代化
の思想的考察―

秋吉 徹

「核家族の新しいあ
りかた」
スウェーデンと日本の社会保障政策とその
今後

宮田 学 孤独な闘争

大園 弘 日本の食事文化―外来料理定着の要因―

松崎 賢二 現代日本社会の意識構造

渡部 記光 高度情報社会における日常生活（ニューメ
ディアの色ぐあい）

(宮村ゼミ)

鈴木 雅博 飢餓―その実状と意味するもの

小菅 幸男 ここ近年における外食産業の実状と将来へ